



第15回小美玉市子ども議会開催



今週6日（月）、小美玉市役所3階議会議場において、3年ぶりの子ども議会が開催されました。子ども議会は、子どもたちが市役所の仕事を知り議会活動の一部を体験することにより、市政をより身近に感じ関心を高めるとともに、子どもたちが参加するまちづくりをしていくこと等を目的としています。子ども議員として一般質問をしたのは市内7校の小学6年生16名。本校からは、6年1組KK1さん、6年2組KK2さん、6年3組YHさんの3名が出席しました。

<KKさんの一般質問：旧小川小学校・橘小学校・小川幼稚園の活用について>

私の家の近くには公園や広場ありません。あったとしても距離が遠く遊具がない、もしくは老朽化が進み危険な状態だったりします。友達と行ける距離で、休日や放課後に楽しく運動を兼ねて遊べる場所があったらよいと思います。小さい子からお年寄りまで集まれる場所があったら交流がもてるので、地域の活性化にもつながると思います。

そこで、私からの提案です。

旧小川小学校や旧橘小学校、旧小川幼稚園の校庭等の使われていない場所を利用して、遊具の整備や新しい遊具を設置した上で、公園として開放することはできないでしょうか。遊具やベンチについては、安全を確認後、使用できるものは使用し、危険な物は取り除き、新しく設置することができるのではないかと思います。

この提案について、小美玉市としてはどのように考えられるのか、お聞かせください。

<KKさんの一般質問：子どもによる市議会傍聴について>

ぼくは、6年生になって社会科で国政について学習し、政治が自分の生活に関わると知り、興味をもちました。議員さんの仕事の内容について知りたいと思い、議員だよりを見ましたが、難しくて内容の半分もわかりませんでした。

そこで3つの提案をします。

1. 小美玉市議会だよりの内容を子どもでもわかるように教えてもらう議員さんとの交流会をしていただくことはできないでしょうか。2. 議会が開かれる際には、子どもが傍聴したり、録画などでいつでも見たりすることはできないでしょうか。3. 小美玉市の小学生が一度は国会議事堂を見学できるように、社会科見学を実施していただけないでしょうか。

小美玉市では、市政を子どもにもわかりやすく知らせる活動について、どのようなお考えか、ぜひお聞かせください。

<YHさんの一般質問：観光振興・経済発展について>

私は、小美玉市の観光振興・経済発展に対する取組について質問します。

小美玉市には茨城空港があります。茨城空港は2010年の開港以来、様々な路線が新設され、コロナ前までは多くの人が行き交う活気あふれる空港になっていました。しかし、利用者の多くが小美玉市ではなく東京などの都市へ移動してしまいます。私は、それらの人が小美玉市に立ち寄ってくれば、様々な市の魅力を伝えることができるのに、と残念に感じていました。

そこで、私は茨城空港のそばにある「空の駅そ・ら・ら」をさらに魅力ある施設にするため、遊園地、温泉、キャンプ場、ショッピングモールなどを誘致し、総合レジャー施設にすることを提案します。もし実現すれば、観光振興や経済の発展に大いに役立つことはもちろん、私たち市民の毎日もより豊かで楽しいものになるはずですよ。

この提案について、小美玉市としてどのように考えられるのか、お聞かせください。

※紙面の都合により、一般質問内容は一部省略

答弁をしてくださったのは、副市長さんや教育長さんをはじめとする市役所部長級のみなさん。市議会議員の方々による議会と同じです。一人一人の質問に対して、丁寧にわかりやすくお答えくださいました。そして、島田市長さんは講評の中で、「とても素晴らしかったです。地域をよくしたいという思いが伝わってきました。議会は知恵を出し合う場です。もっとこうなったらいいなという声を市に届けてください。小美玉の『新時代』に向けて、一緒に取り組んでいきましょう。」とお話してくださいました。

<子ども議会に出席した3名の感想>

人任せにせず、自分たちで意見を出すことが大切だと感じました。自分の気持ちがきちんと伝わる話し方ができるようになりたいです。市議会への興味が高まりました。市はまちづくりのために様々なことに取り組んでいることがわかりました。私も積極的に取り組んでいきたいです。



議員証書をもらう、一礼をして議場に入る、議員席に座る、横になっている氏名票を起こす、「はい、議長。」と言って手を挙げる、質問席に立って質問をする。すべてが緊張だったと思いますが、閉会後は達成感を感じたそうです。

小美玉市の子どもたちが、「小美玉に生まれてよかった」「小美玉で育ってよかった」「小美玉に住み続けたい」と思い、小美玉市の新時代を創っていく。とても楽しみです。